

第62回北海道書道展 公募要項・出品規定

公 募 要 項	1.展覧会	【公募】2021年5月4日(火・祝)～5月9日(日) 札幌市民ギャラリー(中央区南2東6) 【北の書作家2021 (招待会員・会員)】4月28日(水)～5月2日(日) 札幌市民ギャラリー 【会友】5月7日(金)～5月11日(火) 札幌パークホテル「パークプラザ」 入場料(3展覧会共通券) 当日券500円 前売券300円 高校生以下無料
	2.部門	第1部 漢字(3字以上、写経含む) 第2部 大字書(1字、2字の漢字) 第3部 かな 第4部 詩文書 第5部 墨象・前衛 第6部 篆刻・刻字
	3.鑑審査・賞	公募作品は会員によって鑑審査を行い、入選者には入選証を贈る。ただし、第61回展特選受賞者は、当該部門に限り無鑑査とする。入選作品の中から、優秀作品には特選、秀作を贈り、作品写真を作品集に掲載する。23歳以下の特選受賞者には、あわせてU23奨励賞を贈る。
	4.発表	4月上旬に出品者全員に成績を通知するほか、入選入賞者は4月中～下旬に北海道新聞紙上で発表する。
	5.表彰式(予定)	表彰式 5月8日(土)午後1時～ 祝賀会 同3時30分～ 会場 札幌パークホテル ※詳細は成績通知の際にお知らせします。
	6.その他	出品者は出品規定、鑑審査および展示について異議を申し立てることが出来ない。
出 品 規 定	1.出品資格	満16歳以上(生年月日が2005年4月1日以前の者)。道内在住または北海道に在住したことのある者。
	2.出品作品、表装	未発表のものに限る。作品を裏打ちする台紙は、下記の指定取扱店(表具店)が指定したのものに限る。帯、枠を入れるなどの装飾を含め、作品への表装は一切認めない。作品に鉛筆での氏名記入をしない。
	3.作品の形式	作品はすべて裏打ちのまま鑑審査を受ける。
	4.出品点数	各部門とも1人2点までとする(2点とも同じ指定取扱店に提出すること)。 ※ただし、入選・入賞は1点のみとなる。
	5.作品の大きさ(作品本紙の大きさ)	㉠ 70センチ×136センチ以内 ㉡ 55センチ×175センチ以内 ㉢ 88センチ×88センチ以内 ㉣ 篆刻は24.5センチ×36センチ以内 ※印影のみを出品すること ㉤ 刻字は2754平方センチ以内。ただし、一辺の長さは91センチ以内とする。
	6.作品締切	2021年2月27日(土)までに 下記指定取扱店へ 出品料とともに 届けること。(厳守)
	7.出品料(税込)	◎出品料には裏打ち代・取扱店手数料が含まれる。下記指定取扱店へ納入すること。 ① 24歳以上79歳まで 1点につき14,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ② 80歳以上 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ③ 19歳以上23歳まで 1点につき10,000円。同一部門2点出品者は2点目7,000円。 ④ 16歳以上18歳まで 1点につき 5,000円。同一部門2点出品者は2点目5,000円。 ※年齢は 2021年4月1日現在の満年齢 。
	8.添付書類	出品票(コピー不可)※第60回展、第61回展に出品された方は指定の出品票 (出品者の氏名やバーコードなどが印字されたもの)を使用すること。紛失などで出品票が必要な場合は、事務局までご連絡ください。
	9.展示	全入選・入賞作品は貸枠装のうえ展示する。貸枠料9,000円(作品サイズ㉠は10,000円、篆刻は4,500円)は別納とし、 <u>4月1日から4月24日までに指定取扱店に納入</u> すること。特選作品の一部が移動展に回ることがある。※料金は税込
	10.移動展	入選・入賞し移動展出品を希望する場合は、出品票の「移動展希望会場欄」に記入すること。移動展出品手数料を取扱店に納入すること。手数料は1会場につき3,300円(第6部は1,100円)、函館展は手数料のほかに2,000円の協賛金が必要。 ※料金は税込 <伊達展>6月9日(水)～6月15日(火) だて歴史の杜カルチャーセンター <函館展>6月26日(土)～7月2日(金) 道立函館美術館 <網走展>7月10日(土)～8月1日(日) 網走市立美術館 ※追加申込は4月20日(火)までに事務局と取扱店に連絡すること。
	11.その他	・上記出品規定に沿わない場合は受付けない。 ・作品の保管は5月末日までとし、その後の責任は負わない。(移動展出品者は8月末日まで) ・返送希望の場合は返送手数料2,500円(税込)を出品料と同時に納入すること。 ・発表、賞状、名札は出品票の姓号、字体を使う。ただし、新聞発表の際は常用漢字に直すこともある。
指定取扱店	・京美堂 〒005-0021 札幌市南区真駒内本町3丁目7-12 TEL・FAX011-581-6661 ・昌文堂 〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-23 TEL011-746-5221 FAX011-746-2070 ・日成堂 〒064-0922 札幌市中央区南22条西9丁目アートパレス2階 TEL011-561-9074 FAX011-561-3981	

招待作家 (敬称略、2020年12月10日現在)

中野 北溟

招待会員 (50音順・敬称略、2020年12月10日現在)

我妻 緑巢 安保 旭舟 石川 玉舟 今多 錦鳳 長内 敬子 北川 稲谷 君 庸子
 嶋原美恵子 島田 一嶽 島田 青丘 白土 恵香 新谷 谿雪 大門 玉泉 高橋 静峯
 高畑美智子 竹内 津代 千鶴 敏子 椿澤 雷鷲 中嶋 香苑 中野 歸山 中野 層翠
 野村 墨水 原田 示峰 伴 恵美子 東志 青邨 平田 鳥閑 麓 竹露 松本 暎子
 水野 松雪 山本 玉沙

会員 (50音順・敬称略、2020年12月10日現在)

※審査は当番審査員(○印)によって行われます

<第1部 漢字>(54人)

○飯塚 大海 石田 壺城 ○和泉 星沙 伊藤 紫光 井上 夕霞 宇野 雉洞 ○遠藤 玲子
 大橋 静琴 奥村 素紅 ○加藤 青園 ○亀岡 芳扇 ○木村 翠苑 國澤 翠風 久保田朴雲
 小原 藝城 ○小原 道城 ○近藤 紫陌 斉藤 香月 佐々木香流 佐藤 翔雲 ○島田美紀子
 ○嶋津 玉泉 島本 松簾 杉山 透雪 鈴木 紅舟 ○鈴木 繁樹 高橋 素香 竹村 節子
 ○田中 翠甫 ○出村 太幹 ○戸塚 清秀 中西 春湖 永原 博子 ○中村 懷玉 浪田 美芳
 ○成田 成峰 橋本 圭風 ○長谷川大雅 ○早坂 亮陽 ○樋田 香雪 平井 翠雪 福田 遥岑
 ○藤本 清泉 本間 太洲 松山 朴羊 水間 臥猪 ○宮沢 爽光 山内 虹苑 ○山内 太鶴
 ○山田 太虚 吉岡 静風 和田 遙花 ○渡辺 美鴻 ○渡辺 美明

<第2部 大字書>(37人)

青木 空豁 石崎 閑雲 ○太田 欽舟 小笠原紅華 ○小川 博水 奥家 秀岳 加藤 東虹
 ○鎌田 珠泉 河端 桃香 ○河村 遊霞 ○清兼 吼 熊川 景子 ○小林 慶風 ○小林 聖鳳
 ○駒澤 静秀 今野 冲岳 ○酒井 精舟 ○椎名 恵舟 ○高橋 祥雲 瀧野 喜星 ○武田 恵
 野中 竹峰 羽毛 蒼洲 細川 貴久 本間孤峯正啓 ○松永 律子 水上 祥邦 三橋 啓舟
 ○湊 蒼玄 ○矢野 鴻洞 ○山崎 大寒 ○山田 起雲 ○吉田 晴賀 ○吉田 瞭風 ○吉見 奎鳳
 ○渡邊 層山 渡部 天外

<第3部 かな>(36人)

明石 郁子 ○阿部和加子 岩村 遊希 大川壽美子 押上万希子 小野木沈香 加藤紀久子
 狩野 紅舟 ○北 彰子 ○木村 征子 ○草薙 正子 ○紅林 幸子 河内 栄子 佐々木公江
 ○佐々木優子 ○真田 昇 下村 美穂 ○東海林淳子 菅原 京子 ○鈴木 竹華 ○関 祐子
 ○竹内 松韻 ○竹本 きみ ○千葉 和子 ○寺田 千秋 土井 一剛 ○長佐古良子 ○滑志田方苾
 ○野田恵美子 乗木美穂子 福本 恭子 前川悠紀子 ○眞木千賀子 ○村田ゆかり 八巻 水鷗
 ○山田 香園

<第4部 詩文書>(68人)

○相澤 太煌 ○秋山 翠聲 阿部 寿山 在田 佳子 ○安保 天壽 井川 静芳 ○石原 北陽
 ○磯波 水鈴 市橋佐代子 伊藤 紫園 今村 桃香 遠藤 香峰 大泉 堅治 大川 一濤
 ○大川 瀟湖 大川 宣子 ○大高 蒼龍 葛西 青龍 加藤 幸道 ○加藤 正叙 川原 薫
 ○君田 康子 ○清本 和子 ○小林 融之 ○斎藤 大麓 ○品田 國子 ○西西 弘美 杉山 歌子
 ○鈴木 大有 須田 廣充 ○大上 凌胡 高橋 魁山 ○高橋 海堂 瀧野 時雪 ○田中真喜子
 ○植本 祥芳 出村 耕山 天満 篤子 ○東藤 義文 ○飛世 智恵 ○中上ゆかり ○中河 濤人
 ○中川 蘆月 新井山蘭牛 ○西 恵翠 野水 錦泉 ○袴田 瞳 ○橋本 聳山 ○畠山 紫香
 東方 鳳山 ○深江 京州 藤原 太眼 古谷 玄山 ○籙 宥行 ○松岡 一真 溝 掬水
 宮岡 蝶溪 ○宮崎 騁洋 宮脇 慶子 茂垣 回歸 茂呂 小袖 山田 龍雲 ○大和 鳥啼
 ○山元 昭子 吉川 海斗 ○吉田三枝子 ○吉野 祥琴 ○渡邊 抱雲

<第5部 墨象・前衛>(26人)

○在間 實 ○安藤 小芳 ○上戸 抱山 ○太田 秋源 ○菊地 紀仁 ○北川 和彦 ○木村 蒼人
 ○木村 大猷 ○小嶋 康博 ○桜庭 青泉 ○佐々木信象 ○塩崎 学 ○渋谷 北象 ○高橋 蘇山
 ○竹下 青蘭 ○寺島 春代 ○照井 心磊 ○中島 青霄 ○西田 徹心 ○野坂 武秀 ○三上 雅倫
 ○三上 山骨 ○三上 禮子 ○湊 天邦 ○八重柏冬雷 ○山崎 光雲

<第6部 篆刻・刻字>(12人)

○飯田 邦生 ○池田 敬岳 ○岩佐 浩克 ○太田 幽琳 小田島美翠 ○上山 天遂 ○萱 登柳
 ○北濱 希石 ○小泉 和雄 ○越坂 久雄 ○下山 邃堂 ○竹浪 翠堂

主催 北海道新聞社

後援 北海道 北海道教育委員会 札幌市 札幌市教育委員会 北海道書道連盟
 (事務局) 〒060-8711札幌市中央区大通西3丁目6 道新文化事業社内
 TEL011-210-5735、FAX011-207-3939
 (月～金9:30～17:30、土・日、祝日、年末年始は12月29日～1月3日まで休み)
 URL https://doshin-bj.jp

新型コロナウイルス等による変更のご案内はホームページに随時掲載しておりますので最新情報をご確認ください。